

山梨県理学療法士会会報誌

SUPPORTERS

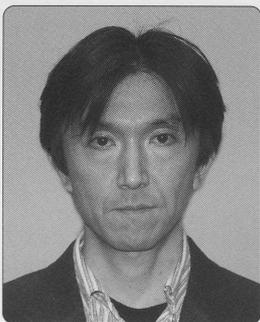
サポーターズ

No.126 2010 夏号

士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 543 名 (新入会員は除く)

施設数 90 (6月3日現在)



「2010年度に向けて」

高村 浩 司

今巷では坂本龍馬の話題が多く取り上げられています。NHKの大河ドラマ「龍馬伝」や各地で龍馬にゆかりある催しが開催されています。そんな龍馬についてこんな話があります。

当時の土佐藩士の間では長刀をさすことが流行していました。あるとき龍馬の友人が龍馬と再会したとき、龍馬は短めの刀を差し「実戦では短い刀のほうが取り回しがよい」と言い、納得した友人は短い刀を差すようにしたそうです。次に再会したときに友人が勇んで刀を見せたところ、龍馬は懐から拳銃を出し「銃の前には刀なんて役にたたない」と言いました。納得した友人はさっそく拳銃を買い求めました。三度目の再会で、友人が購入した拳銃を見せたところ、龍馬は万国公法(国際法)の洋書を取り出し「これからは世界を知らなければならない」と言いました。この話は、龍馬の性格をととてもよく表した逸話だそうです。一見、人と違ったことをしたがっていたようにも思えますが、常に世の中の動向について先読みし明治維新の礎を築いた龍馬の偉大さが垣間見られます。

皆様もご承知の通り、昨今理学療法士の世界も変革を求められています。聖域なき構造改革から診療報酬の削減や急激な理学療法士の増加、最近では休日リハビリの提供体制や吸引の合法化、がん患者のリハビリ体制強化等、時代は刻々と変化しています。我々は、その変化に素早くそして適切な対応をしていかななくてはなりません。しかも今後の時代の流れを予測しながら・・・もはや個人の知識・技術の研鑽のみでは時代錯誤なのかもしれません。目の前にいる対象者一人ひとりを重んじながら龍馬のように大海にも目を向けることが必要ではないでしょうか。

山梨県理学療法士会は発足 40 周年を目前にして今後、法人格の取得や第 46 回日本理学療法士協会全国学術研修大会の開催が予定されています。どちらも会員皆様のご協力がなくては成立させることはできません。時代の流れに逆らわない柔軟な変化力で乗り切りたいものです。

Contents

「2010年度に向けて」… 1

平成 21 年度山梨県理学療法士会総会開催… 2～7

各部活動報告… 8～10

この日何の日? 「7.17」気になる日! … 9

トピック「団体総合補償制度費用保険」についてのご説明… 11

「リーフレットができました」… 12

事務管理局より… 12

お知らせ… 13～14

原稿募集… 14

会員外のお客様… 15

リレーエッセイ Part 8… 16～17

編集後記… 17

「supporters(サポーターズ)」とは・・・

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。

平成21年度山梨県理学療法士会総会開催

平成21年度総会が、去る4月16日(金)甲州リハビリテーション病院大木記念ホール(石和町)において開催されました。

当日は総会員数543名に対し131名(委任状293通)の出席をいただきました。議長は、三科貴博(健康科学大学)、斉藤嘉久(石和温泉病院)が選出され、提出議案が審議されました。

提出された5議案はすべて原案どおり承認されました。



平成21年度山梨県理学療法士会 総会議事録

日時：平成22年4月16日(金) 午後6時30分～20時

会場：大木記念ホール

議長：三科 斉藤 書記：中込 丸茂 議事録署名：志村 新井

正会員数543名に対し、出席者数131人、委任状293通 会則22条に基づき会員数の過半数の出席により本総会は成立した。



第1号議案 平成21年度事業決算報告

会長

県士会総会、理事会、新人教育プログラム講義、協会、関東甲信越ブロック、県関連機関等の会議、慶弔関係、全国学術研修大会実行委員会、連盟に出席

副会長

理事会、担当部局会議の開催・出席

監事

中間監査、年度末監査の実施

代議員

第38回日本理学療法士協会代議員会出席

事務管理局

総務部

会員動向の把握・諸手続き(会員数543名、施設数90施設)

士会員への事務連絡

慶弔関係の諸手続き(弔電9通、祝電7通)

理事会開催(計11回)

定期総会・中間監査・最終監査の開催

関係団体との提携及び協賛・後援依頼の回答

インターネット接続管理

団体総合保障の更新

事務管理局会議の開催・議会議への出席

平成21年度交流会の開催

財務部

会費徴収：実徴収者数559名(内新入会員65名)

未納者数4名

会員証：クレジット付帯会員証発行者数487名(内新入会員56名)

協会本部会費納入手続き

協会本部口座登録手続き

什器備品在庫目録・財産管理

中間監査・最終監査の開催

諸会議への出席

広報局

広報部

1. 理学療法週間の活動（会報誌・ホームページ（以下、HP）へ理学療法週間を掲載）
2. 「いきいきねりんピック 2009」にて啓発活動の実施
3. PT あ！を山梨県理学療法士会会員および所属施設へ配布
4. 公開講座にて啓発活動

会報部

1. 会報誌発行（年4回）実施
2. 企画会議（年4回）編集会議（年4回）実施
3. 原稿依頼・編集作業
4. 各種取材活動（年12回）

HP管理部

1. 部内会議開催（年3回）
2. 士会ホームページ随時更新
3. 理事会にて情報収集

学術局

生涯学習部

プログラム

I-1	6月9日	参加人数65名	I-2	6月16日	参加人数66名
I-4	6月16日	参加人数66名	I-1	6月19日	参加人数68名
II-2	11月27日	参加人数68名	II-3	11月18日	参加人数69名
II-4	11月27日	参加人数69名	II-6	11月18日	参加人数69名
III-1	2月4日	参加人数60名	III-4	2月4日	参加人数55名
III-3	2月16日	参加人数50名			

学術集會部

第13回山梨県理学療法士会学術集會開催

日 時：平成21年12月13日（日）10:00 開演
 場 所：ホテルクラウンパレス甲府
 内 容：特別講演、一般演題40演題
 参加者数：296名（含非会員1名）
 託児室利用者（児）：3名

学術研修部

学術研修会（年4回開催）

学術研修会（年4回開催）

第1回学術研修会：「SJFについて」

「基礎研究について」

「AKA（博田法）について」

「スポーツ理学療法について」

「ボバースコンセプトについて」

「呼吸理学療法について」

第2回学術研修会：「解剖学的視点から見た理学療法 基礎編～股関節を中心に」

「解剖学的視点から見た理学療法 基礎編～肩関節を中心に」

「解剖学的視点から見た理学療法～応用編～」

第3回学術研修会：「リハビリテーションのための脳・神経科学～最近のトピックス」

第4回学術研修会：「心疾患に対する理学療法の実際」

社会局

委託事業部

1. 身体拘束廃止推進事業関係

21年度の身体拘束廃止専門相談員として7名を推薦

- 1) 「高齢者権利擁護等推進事業」並びに「身体拘束廃止推進専門相談員派遣事業」推進会議1回実施
- 2) 高齢者権利擁護等推進員養成研修 対象施設を替えて2回実施
- 3) 高齢者権利擁護等事例報告検討会1回実施

2. いきいき山梨ねりんピック 2009 参加
3. 地域リハビリテーション従事者研修会
4. 依頼事業

「自立を促すリハビリテーション」

スポーツ理学療法部

- スポーツ理学療法勉強会 3回実施
 競技スポーツ 大会：12大会をサポート チーム：8チームをサポート
 講演・講習：外部依頼なし
 その他：いきいき山梨ねりんピック参加
 県学術集会演題発表
 研修会：部員を対象に毎月2回実施

企画局

公開講座部

開催テーマ：「メタボリックシンドロームを考える」

企画研修部

1. 企画研修部研修会 開催テーマ：「患者の心理とその対応」
2. 臨床実習指導者研修会 開催テーマ：「臨床実習のあり方について」

調査研究部

1. 公開講座アンケート調査実施
2. 部内会議開催

福祉厚生局

医療保険部

1. 医療・介護施設状況実態調査の実施(年1回)
2. 医療・介護報酬に関する基礎的勉強会の実施(年2回)
3. 医療保険制度に関する情報人手とHPへの掲載
4. 医療保険に関する問い合わせへの対応

介護保険部

1. 平成21年度介護報酬改定情報の収集
2. 平成21年度介護報酬改定情報について山梨県理学療法士会HPと山梨県理学療法士会会報誌に情報掲載
3. 日本理学療法士協会職能局からアンケート調査依頼への協力
4. 医療保険部と合同にて、山梨県内の理学療法士が勤務する施設状況に関する実態調査、山梨県理学療法士会会報誌に調査報告
5. 医療保険部と合同で、医療・保険に関する勉強会開催・アンケート結果報告

地域連携部

1. 理学療法相談窓口の対応
2. 第10回地域理学療法研修会の実施に向け検討会議の開催
3. 第10回地域理学療法研修会開催
 テーマ：「病院から外へ出よう すばらしき在宅医療25年の取り組み」
4. いきいき山梨ねりんピックでの理学療法相談対応
5. 地域理学療法についての情報収集・発信

全国学術研修大会実行委員会

事務局

1. 諸会議の実施
 全国研修大会準備委員会：4回実施
 全国学術大会総合企画会議：1回実施
 事務局会議：1回実施
2. 準備委員会進捗状況を土会HP掲載依頼
3. 第44回全国学術研修大会視察
4. 協会より3,000,000円入金

運営局

1. 第44回全国学術研修大会視察
2. 富士屋ホテル・常盤ホテル視察
3. 運営日程の検討
4. 会場設営のレイアウトの検討

- 企画局 1. 企画局会議の開催 (4回)
 2. 特別講演・分科会・テクニカルセミナー等 講師・司会者への依頼と内容の企画検討
 3. 第44回全国学術研修大会視察
- 広報・渉外局 1. 全研名刺作成 (11名分)
 2. 第44回全国学術研修大会視察
 3. 大会リーフレット・チラシ原案決定・作成

法人化実行委員会

1. 全国都道府県理学療法士会法人化推進会議 12回実施
 2. 調査、情報収集 (適時)

40周年記念事業検討委員会

1. 平成23年度の開催に向けた平成22年度の事業案作成
 2. 40周年記念誌の作成についての検討
 3. 40周年記念式典についての検討
 4. 広告依頼と協賛金についての検討

平成21年度山梨県理学療法士会最終収支報告 総会資料参照

平成21年度山梨県理学療法士会財産目録 総会資料参照

平成21年度山梨県理学療法士会什器備品目録 HP管理部でパソコン1台購入

全国学術研修大会実行委員会 大会長より進抄状況報告

1. 日時・場所：平成23年10月6・7日 富士屋ホテル・常磐ホテルで開催予定
 2. 内容：プログラムについて説明があった
 3. 今後の予定：各団体・岐阜の学術大会に挨拶。リーフレット決定後、9月の関東甲信越ブロックと10月の全国学術研修大会に参加・挨拶。

質疑応答

帝京科学大学 中山先生：委託事業活動費 (1,412,000円) の全額の発生を教えて欲しい。

社会局：高校・事業団からの協力依頼により直接入金される。財務部でも内訳は把握している。

帝京科学大学 中山先生：内訳について公開して頂きたい。

財務部：日当は半日2,000円を参加費とし、日数×2,000円です。
 蕪崎高校20万・甲府オープンテニス10万となっている。

第1号議案は、拍手多数にて承認される。

第2号議案 平成21年度監査報告



平成21年10月15日 中間監査実施
 平成22年4月8日 年度末監査実施

1. 監査内容

事業報告、収支報告並びに通帳、財産目録、什器備品目録について

2. 監査結果

- ・年間事業の執行は、順調に行なわれたものと認める。
- ・決算報告書、会計帳簿等についての監査の結果、財産は適正に管理運営されていたものと認める。

3. 監査考察

- ・各部局の事業が積極的に展開され、参加者も多く順調に行なわれている。1年半後の全国学術研修大会の実行委員会も順調に進行されている様子、また法人化に向けて引き続き努力して頂きたい。

- ・会員はリアルタイムの情報源としてのHPの活用が多く、福祉厚生局など対応が出来ている。より内容を充実して、新しい情報を伝えて頂きたい。
- ・法人化に向け、新入会員、会員に対して会則等をHP等に開示して、共有できるようにして頂きたい。必要があれば、内規の見直し等も検討して頂きたい。
- ・決算報告書はわかり易く、説明し易い様に記載内容の検討をお願いしたい。

第2号議案は、質疑なく拍手多数にて承認される。



第3号議案 平成22年度事業計画・予算(案) 審議

「事業計画」

- 会 長 県士会総会、理事会、新人教育プログラム講義、協会、関東甲信越ブロック、県関連機関等の会議、慶弔関係、全国学術研修大会実行委員会、連盟会議出席予定
- 副会長 理事会、担当部局会議の開催・出席予定
- 監 事 中間監査、年度末監査の実施予定
- 代議員 第39回日本理学療法士協会代議員会出席予定

事務管理局

総務部

会員の登録管理、諸会議の開催と議事録の保存、交流会の開催等

財務部

会費徴収等

広報局

広報部

1. PT週間に併せ啓発活動
2. いきいきねりんピックへの参加
3. パンフレットの作成等

会報部

1. 会報誌発行(年4回)
2. 部内企画会議・編集会議開催

HP管理部

1. HP管理部会議(年4回)
2. 士会HP随時更新等

学術局

生涯学習部

1年間で18テーマ実施予定

学術集會部

第14回山梨県理学療法士会学術集會開催
平成22年12月12日(日) 予定

学術研修部

学術研修会(年4回開催) 予定

社会局

委託事業部

1. 高齢者権利擁護等推進事業
2. いきいき山梨ねりんピック2010
3. 地域リハビリテーション従事者研修会への参加予定

スポーツ理学療法部

1. スポーツ理学療法勉強会3回実施予定
2. 競技スポーツへのサポート等

企画局

公開講座部 一般市民に向けた講演会を予定

企画研修部 士会員を対象とした2回の研修会を予定

調査研究部 アンケート調査を実施予定

福祉厚生局

医療保険部

H22年度診療報酬に関する情報整理と配信等

介護保険部

介護保険制度や介護報酬に関して動向把握と情報収集等

地域連携部

1. 理学療法相談窓口の対応
2. 第11回地域理学療法研修会開催予定等

全国学術研修大会実行委員会

事務局

1. 大会予算書の見直しと作成
2. 大会当日までのカウントダウンスケジュールの作成
3. 講師・座長依頼書や自治体・関係団体等への公文書の作成・発送等

運営局

1. 愛媛全研視察
2. 日程スケジュール確定等

企画局

各講師・司会者への連絡・調整等

広報・渉外局

パンフレットの決定・制作等

法人化実行委員会

一般社団法人格の取得：取得に向けて必要事項の確認、理事会への提案等

表彰委員会

協会賞推薦、及び他機関からの表彰の推薦依頼に関して検討する

選挙管理委員会 選挙の開催

40周年記念事業検討委員会 準備委員会の開催

平成22年度 山梨県理学療法士会予算(案) 総会資料参照

質疑応答(意見)

石和温泉病院 古屋先生：

1. 学術研修会等について、今後、365日リハ実施の施設が増えてくる。土日の研修に出席が困難となる。これについて会員が参加しやすい方法を考えてもらいたい。
2. 学術集会において、参加者が会場に入りきれず、ロビーにあふれていた。会場を検討してほしい。また、今後会場費がかかるなら参加費の増額を考えても良いのではないか。
3. 全国研修会について、参加しやすいように1日ごとまたは午前・午後など細かく分けて参加費を徴収してはどうか。

事業案、予算案は、拍手多数にて承認される。

第4号議案 基金の取り扱いについて

谷村会長：現在、基金が300万円余りある。議案として、来年度の全国研修会の準備・開催基金として200万円を支出したい。

拍手多数にて承認される。

第5号議案 討議事項特になし

新人教育プログラム修了者39名



平成21年度の新人教育プログラム修了者は39名でした。総会の席上において、谷村会長より一人一人『新人教育プログラム終了認定書』が授与されました。

おめでとうございます。

ここから生涯学習基礎プログラム・専門理学療法士へと進んでください。

各部 活動報告

福祉厚生局発

平成21年度

「第10回地域理学療法研修会」報告



平成22年2月19日(金)、ホテルクラウンパルス甲府にて第10回地域理学療法研修会が開催されました。今回のテーマは「院内から外に出て行こう！すばらしき在宅医療」～峡南地方における28年間の地域医療の経験～と題して飯富病院の院長 長田忠孝先生にご講演して頂きました。

長田先生は在宅医療の必要性やすばらしさを、長年の体験談に沿って語って下さいました。その中で、「理学療法とは一貫して継続されておこなわれるもの」

「病院とは入院や外来の患者だけを診るものではない」という言葉が、院内のみで働いている私にとっては心に残るものでした。

128名と参加者が多く、長田先生の熱いメッセージを真剣に聞いていました。改めて在宅生活、在宅医療の大切さを学ぶことのできた研修会でした。

身延山病院 望月一史

●問い合わせ先：福祉厚生局地域連携部 山田

(甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131)

学術局発

第4回学術研修会 報告

平成22年3月21日(日)、第4回学術研修会が開催されました。

北里大学医療衛生学部の松永篤彦先生を講師に迎え、「虚血性心疾患に対する理学療法・心不全に対する理学療法の位置づけと実際」と題して講演していただきました。参加人数は106名と連休中にも関わらず、多くの方々が参加しました。

講義内容は、心疾患に対する基本的な循環動態から始まり大変分かりやすい内容でした。教科書など紙面上での学習に比べ、松永先生の経験をもとにした話はとても興味深い内容でした。

特に、リハビリ中の心事故を経験した話はリスク管理や病態の把握の必要性を考えさせられ、モニタリングに対する考え方も再度学ぶことができました。また、先生が臨床で行っている重症心不全患者に対するベッド上でのエルゴメーターや、EMSを用いたアプローチなどの取り組みを知る事ができ自分のアプローチの幅も広がりました。

最後に私が一番印象に残っている言葉は、「心臓が悪い方はあまり無理をしないでね」という言葉です。この言葉は患者さんのQOLの低下を招く言葉だと先生はおっしゃっていました。患者さんに対して安全にできる事を明確に提示する事や、メンタル面のフォローを行い専門職としてこれからも循環器疾患の患者さんへ関わっていきたいと感じました。

巨摩共立病院 和田 匠

●問い合わせ先：学術局学術研修部 名取

(甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131)

企画局発 臨床実習指導者研修会

平成22年3月14日(日)、臨床実習指導者研修会が開催されました。

今回、学校・施設側の両方が臨床実習について同じテーブルで検討し、お互いの本音を少しでも話し合うことができればと思い企画しました。当日の参加者は予定より少ないものの、結果的にはグループごとのディスカッションを活発に行うことができよかったですのではと思います。施設側からは「学校も臨床実習について、しっかりした考えのもとに取り組んでいることがわかって良かった」という言葉を聞くことが出来ました。また、学校側からは「取り組みが理解してもらえて良かった」との感想をもらうことが出来ました。講義では臨床実習の指導方法と学生の捉える臨床実習について聞くことができ、これからの臨床実習指導のよい参考になりました。臨床実習は、士会員全員で考えていくべきものだと思います。

今後も継続して企画しますので、一人でも多くの会員の参加をお願いいたします。

甲州リハビリテーション病院 大西正紀



●問い合わせ先：企画局企画研修部 大西

(甲州リハビリテーション病院理学療法科内 TEL 055-262-3121)

この日何の日？

「7.17」気になる日！

「7.17」この数字を見てピンッ！ときた人は何人いるでしょうか？江戸幕府第三代将軍徳川家光の誕生日と思った人は歴史通です。さらに我々理学療法士にとっても大切な日と思った人は理学療法通です。1965年、わが国に理学療法士の資格制度が誕生しました。現在に至るまで理学療法の知識と技術は、より高度に進歩し医療サービスの水準も確実に向上しています。人口の高齢化、医療の高度化に伴いリハビリテーション対象者の増加や保健・福祉分野での新たな需要の拡大など、理学療法士の重要性はますます高くなると考えられます。しかしながらこのような私たちの役割は、いまだ一般の方々に十分に理解されていないことも事実です。

このような観点から、日本理学療法士協会では、専門職としての責任において、必要な情報をより適切に社会へ還元することで、国民全体の保健・医療・福祉の向上に寄与したいと考えています。そこで、協会が設立された**7月17日**を「理学療法の日」と定め、この日を基準とする1週間を「理学療法週間」として、全国各地において種々の行事を開催しています。我々も理学療法の社会的認識を高めるとともに、これからのリハビリテーションのあり方について考えてみてはいかがでしょうか。

広報部 青柳

社会局スポーツPT部発

甲府国際オープンテニス2010

今年も始まりました。甲府国際オープンテニス！

山梨学院大学横根テニス場にて男女予選・本戦、3/20～4/4計16日間。職場の皆さんの協力を得ながらスポーツ部員が交代で日頃の勉強会の知識と日常業務で培った経験を遺憾なく発揮できる？チャンスの日です。

3月20日朝8時15分、会場にベッドや治療機器などを搬入していると、早速来ました「ストレッチお願いします！」。まだ準備もままならない中、「ちょ、ちょっと待って。準備が終わり次第すぐやります。」と毎年のことだが今年も忙しくなりそうな期待と不安、そして選手との再会を楽しみに初日が



始まりました。今年こそはと意気込んで選手に関わりましたが毎年反省することは同じ・・・英語力と診断力！進歩のない自分に反省し、来年こそはと苦手な勉強を頑張ろうとしている今日この頃です。

今年も1日平均9.7時間、延188件と大盛況に終わる事が出来ました。これはスポーツ部員の頑張りだけでなく、各職場の皆さんのご理解があったからこそだと思います。今後もご協力よろしくお願いします。

山梨大学医学部附属病院 山内正樹

●問い合わせ先：社会局スポーツPT部 小尾

(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内 TEL 055-273-9805)

スポーツ理学療法部員募集

年齢・経験・性別など一切不問です。士会員であればどなたでも参加できます。

山梨県士会では、スポーツ理学療法部員としてスポーツ現場で活動していただける方を常時募集しています。この分野に興味のある先生方のご参加をお待ちしています。

現在は、中学・高校・大学・社会人のサッカー、バレー、テニス、ラグビーのチームに帯同し、他にも高校野球や国際テニス大会にも参加するなど幅広く活動しています。



活動内容：○スポーツ大会およびチームに帯同しての理学療法サービスの提供

○スポーツ理学療法に関する講演・教育活動

研修日：毎月第1・3火曜日

連絡先：山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部
小尾伸二

TEL 055 (273) 9805 FAX 055 (273) 8372

E-Mail sobi@yamanashi.ac.jp



「団体総合補償制度費用保険」の契約継続が完了いたしました。つきましては、会員の皆様方に下記の内容をご理解いただき、万が一の時に役立てていただきたいと存じます。

保険の種類

- | | |
|---------------------------|---|
| □死亡補償
(800万円) | 会の活動中(往復途上を含む)の役員・一般会員の方々や会主催行事に参加中の方々が傷害または特定疾病を原因とする身体障害により死亡したときに保険金をお支払いいたします。 |
| □後遺障害補償
(最高800万円) | 会の活動中(往復途上を含む)の役員・一般会員の方々や会主催行事に参加中の方々が傷害または特定疾病を原因とする身体障害により後遺障害を残されたとき、その程度により保険金をお支払いいたします。
ただし、その原因が疾病の時は障害厚生年金の基準を参考にしてお支払いいたします。 |
| □療養補償(入院)
(入院日額5,000円) | 会の業務中(往復途上を含む)の役員・一般会員の方々や会主催行事に参加中の方々が傷害または特定疾病を原因とする治療のために入院したとき、その入院日数に対し180日(または730日)を限度として保険金をお支払いいたします。 |
| □療養補償(通院)
(通院日額3,000円) | 会の活動中(往復途上を含む)の役員・一般会員の方々や会主催行事に参加中の方々が傷害または特定疾病を原因とする治療のために通院したとき、その通院日数に対し事故発生日から180日を限度として、90日分までの保険金をお支払いいたします。 |

<保険金をお支払いできない主な場合>

- ☆保険契約者・被保険者・被補償者の故意または重大な過失
- ☆被補償者の犯罪行為または闘争行為
- ☆被補償者の麻薬、あへん、大麻または覚醒剤、シンナーなどの使用
- ☆頸部症候群(むちうち症)または腰痛で自覚症状伏しかなないもの
- ☆被補償者のめめ、靴擦れ
- ☆被補償者が補償開始の直前12ヶ月以内に治療を受け、または治療のため医師の処方に基づく服薬をしていた疾病と因果関係のある特定疾病による身体障害

<万一、事故がおこったら>

- ・事務管理局(甲府城南病院 理学療法室内) 055-241-5811 及び
- ・事故連絡先 年中無休・24時間サービス 0120-091-313

上記エース保険損害サービスセンターまでご連絡下さい。

保険金支払いに該当する事業が生じた場合には、すみやかに取扱代理店またはエース保険損害サービスセンターまでご通知下さい。通知受領後、保険金の請求に必要な手続きをお知らせいたします。

所定の手続終了後、通常は30日以内に保険金をお支払いいたします。

なお、補償適用の原因発生日から30日以内に書面によるご通知がない場合は、保険金をお支払いできないことがありますのでご注意ください。

【お問い合わせ先・取扱代理店】

国際保険株式会社 担当：志摩政裕

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

TEL 03-3354-5931 FAX 03-5363-5940

第46回全国学術研修大会準備委員会

広報部長 中島 孝

我が山梨県開催の全国学術研修会まであと1年半となり、広報活動を本格的に始動する時期となってきました。準備委員会では、昨年ロゴマークを決定し、次にリーフレットの作成に着手しました。開催時期である「秋」の光景と、山梨の名所を重ね合わせた自信作が先日完成しました。広報部では、広報活動の手始めにこのリーフレットを5月末に岐阜県で開催される第45回全国学術大会の会場で配布し、来年に迫った山梨県開催を存分にアピールしてきます。

今回の士会会報誌にリーフレットを同封させていただきました。施設内に掲示していただき、関係者・職員・家族・知人等に「来年、山梨県で全国学術研修大会があるんだよ」と宣伝していただき、また広報活動ができる機会・場面には是非このリーフレットを活用して下さい。そのような会員皆様の地道な啓発活動が、大会成功のための礎になっていくかと思えます。ご協力の程よろしく申し上げます。



*リーフレットに関する問合せ先：広報・渉外局：杉田隆信 りほく病院 (0551-28-8820)

事務
管理局
より

◆変更手続きについて◆

会員データに変更(異動・休会・復会・退会)がありましたら、届出が必要になります。士会HPに、各種届出用紙があります。郵送にて、早急に手続きを行って頂けるようお願いいたします。

- 異動(勤務先変更・自宅住所変更・改姓・転出入等)が生じた場合は、速やかに事務局へ異動届をご提出ください。
- 各種届出用紙(異動・休会・復会・退会)は協会HP及び士会HPにてダウンロードできます。
- 県外異動については、異動前及び異動後の各都道府県士会事務局へ提出ください。
- 提出時には捺印のご確認をお願いします。(捺印がない場合、処理致しかねます)

◆慶弔申請の窓口は事務局です◆

慶弔事項(一親等ならびに配偶者)が発生しましたら、速やかにご連絡をお願いいたします。

◆会員証のお申し込みはお済みですか◆

会員証は今後、研修会・選挙等の参加の際に必要となります。協会も推進しており、皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

ご不明な点につきましては、下記問い合わせ先にご確認下さい。

- 問い合わせ先：事務局 斎藤 (甲府城南病院リハビリテーション科内 TEL 055-241-5811)

お知らせ

第14回山梨県理学療法士会学術集会

- 日 時：平成22年12月12日(日) 午前9:30受付開始 10:00開演予定
- 会 場：ホテルクラウンパレス甲府(予定)(甲府市朝気1-2-1) ※都合により変更になる場合があります。
- 講 師：神奈川県立保健福祉大学 准教授 石井慎一郎 先生
- テーマ：関節疾患に対する理学療法戦略 バイオメカニクスと神経科学的観点からの再考
- プログラム 午前：特別講演 神奈川県立保健福祉大学 准教授 石井慎一郎 先生
午後：一般演題(コンピュータープレゼンテーションによる口述発表)
- 対象者：士会所属理学療法士 ※発表出演者には、新人教育プログラムⅢ-6の単位が認定されます。
- 発表予定の方へ：事前にエントリーが必要です。平成22年7月10日までに、下記必要事項を記入の上、e-mail(PC)にてお申し込みください(件名に「演題申し込み」と記載ください)。確認後、関係書類をお送り致します。e-mailでの申し込みが出来ない方は下記電話番号に御連絡ください。
- 託児室について：
 - 開設時間：平成22年12月12日(日) 9:30~16:00
 - 対象年齢：0歳~小学校低学年 ○定 員：同一時間帯約10名程度
 - 保育料金：半日を1単位とし、一人1単位あたり500円(保険料込み)
 - 食 事：別途料金にて昼食、おやつ付(アレルギー除去食など適宜相談に応じます)
 - 申込方法：平成22年11月15日までに、下記必要事項を記入の上、学術集会部へe-mailにてお申し込みください(件名に「託児室申し込み」と記載ください)。確認後、正式な利用書類をお送り致します。

※演題、託児室共に申し込み後、一週間以内に受理のお知らせがない場合は、お手数ですが下記電話番号に御連絡ください。

必要事項(演題)	必要事項(託児室)
①申込者名、フリガナ、所属(施設名、自宅会員)	①申込者名、所属(施設名、自宅会員)
②連絡先住所、携帯電話番号、e-mail(PC)	②連絡先住所、TEL、e-mail(PC)
③PT経験年数(年目)	③お子様の年齢と人数
④予定査読者	④その他、ご要望等
⑤その他、ご要望等	

- お申し込み・問い合わせ先
学術局学術集会部
山梨リハビリテーション病院 理学療法課
菊池 信、清水一彦、鮎川将之
TEL: 0553-26-3030
FAX: 0553-26-4569
e-mail: gakkaiibu.yamanashi@gmail.com

学術研修会予定

第2回学術研修会

- 日 時：8月8日(日)
- 講 師：札幌医科大学 石川 朗 先生
- テーマ：呼吸リハビリテーション・呼吸理学療法における評価 ~フィジカルアセスメントを中心に~
- 場 所：未定

第3回学術研修会

- 日 時：10月24日(日)
- 講 師：甲府脳神経外科病院 北澤 澄 先生
- テーマ：SJFの検査と治療(仮)
- 場 所：未定

第4回学術研修会

- 日 時：2月6日(日)
- 講 師：埼玉県立がんセンター 吉原広和 先生
- テーマ：浮腫のリハビリテーション
~最近のトピックスも含めて~(仮)
- 場 所：未定

●問い合わせ先：学術局学術研修部 名取大輔(甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131)

平成22年度 理学療法士協会主催 理学療法士講習会のご案内

～脳卒中片麻痺者の評価と治療～

- 日 時：平成22年10月15日～17日
- 場 所：山梨リハビリテーション病院
- 内 容：脳卒中片麻痺者への評価と治療に対して神経生理学、神経心理学、姿勢・動作分析などの様々な視点からの知識・技術を習得し、臨床で応用できるようになることを目的とする。徒手的誘導を行う際に自分の身体の使い方やどのようなことを手から感じなければならぬのかということを実技練習なども多く取り入れ実感してもらう。また、VTRなどを通して症例検討を行い、グループごとに討論するワークショップ形式を取り入れていく。
- 講 師：北山 哲也（山梨リハビリテーション病院）
伊藤 克浩（山梨リハビリテーション病院）
高村 浩司（甲府城南病院）
- 受講費：20,000円 定員26名
- 申込先：〒400-0004 山梨県笛吹市春日居町小松855
山梨リハビリテーション病院 理学療法課 鮎川将之
- 申し込み期限：7月30日必着（申し込み方法につきましては、社団法人理学療法士協会ニュースまたはHPをご参照の上、官製はがきにてお申し込み下さい。）
- 問合せ先：上記に同じ

山梨PNF勉強会 定期勉強会のお知らせ

- 日 程：平成22年9月18日（土）
- 場 所：帝京科学大学
- 講 師：市川 繁之（国際PNF協会アドバンスインストラクター）
- 参加資格：理学療法士、作業療法士
- 参加費：3,000円
- 参加人数：40名
- 申し込み締め切り：9月11日（予定）
- 問い合わせ先：山梨PNF勉強会 代表 大竹 健太郎
E-mail：yamanashipnf@hotmail.co.jp
申し込み方法・詳細は <http://yamanashipnf.com/> をご覧ください

原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えています。
テーマは自由です。ご投稿、お待ちしております。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

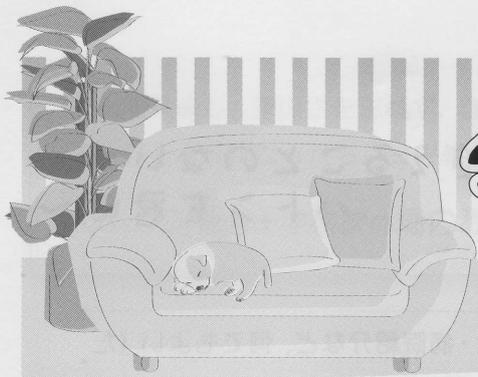
- 次回（No.127 9月中旬発行）締め切りは、8月上旬です。

問い合わせ先 広報局 会報部 清水真治（石和温泉病院 理学療法室内 TEL 055-263-0111）

E-mail sinji0012312@yahoo.co.jp



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。



会員外のお客様

〈在宅ST平澤です〉



15年ほどの病院勤務の後、2002年4月より訪問活動を基盤に在宅STを展開し、9年目を迎えています。失語症者が生きたコミュニケーションを図るには、とても長い期間が必要です。よって病院ST室で、それを補完させるのはほぼ不可能です。失語症者にとって最も辛いのは、症状を十分に理解してもらえないことです。そして“孤独の殻”に閉じ籠りがちになります。在宅STの大切な役割は、良き理解者としていつまでも関わり続けること。また、失語症者や家族の悩みや不安を総合的に対応していくことと考えます。私は現在24名の利用者のところへ、医療保険、介護保険を使って訪問リハビリしています。「生きていて良かった」と失語症者に思ってもらえるように。

〈東山地区失語症友の会〉

私が事務局をしているこの失語症友の会は1994年に発会され、言葉に障害を持った人が生き活きた生活を送れるように、「仲間づくり」を第一に活動してきました。春は総会、お花見、夏はバーベキュー、秋は一泊旅行、冬はクリスマス会と、毎月バラエティに富んだ内容で親睦を深めています。お知り合いの失語症者がおりましたらどうぞ気軽にお誘い下さい。

平澤 哲哉



事務局

〒404-0042 甲州市塩山上於曾495

Tel : 090-2673-1213

Fax : 0553-33-3695

リレーエッセイ

～途絶えることのない
バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので600字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員のひろば」と違い、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

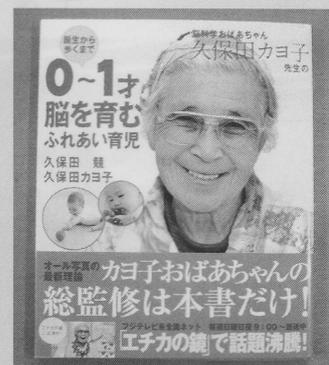
Part 8-1

健康科学大学リハビリテーションクリニック 高村裕子 先生

「貢川整形外科病院 西崎香苗さん」からバトンを頂きました「健康科学大学リハビリテーションクリニックの高村裕子」です。私の勤務しているクリニックは、郡内の河口湖町にあります。当クリニックでは、外来リハビリテーション(乳児～ご高齢の方まで)や訪問リハ、介護保険での通所リハ・訪問リハと地域の方々への貢献を目指し日々奮闘中です。PT・OT・STのスタッフは、常勤9名、非常勤3名です。

私は、毎日甲府から出勤しています。出勤のたびに見える河口湖からの富士山のあまりの感動的な雄大さに感性をいつも刺激されています。困難なことに出会った時は、お世話になった諸先生方や暖かい同僚の方々の思い出し奮起しています。職場では、症例を取り囲む方々の関わりやスタッフ間での連携の重要性を再度実感し、「仕事をする事への感謝の気持ち」が深まってきたように思います。同時に私を支えてくれる家族の存在はとても大きく感謝の気持ちなしでは語れません。私事ですが、今の生活スタイルは、育児・仕事・介護(そうなるであろう遠距離の両親)が混合しています。成長する我が子と老いていく両親から時の流れを学び、自立への導き方や支援することのむずかしさを感じる日々です。夫婦においては不十分な点だらけですが、漠然とでも子育てを大事にしたいという共通概念に幾度となく助けられています。(笑)

以前スーパーおばあちゃんこと久保田カヨ子先生を“エチカの鏡”で拝見した時、「なんて元気で自信に満ち溢れている人だろう。」という印象から、何役も来なしてこられたカヨコ先生にお会いして話を聞きたいという気持ちが強まり興奮しました。それから、出版されている本を読み集めています。(読むほどに我が子も通わせてみたかったと後悔しています。)著書には、バランスのいい脳にするために知っておきたいことなど、小児のみならず、成人の方々にも応用できる部分もある内容です。学識的な見解は、リレーの趣旨ではないのでここでは省略させていただきますが、私はあの元気さと情熱の源をととても知りたいのです。カヨコ先生ご自身の歩まれた歴史を通して、赤ちゃんからご高齢の方の気持ちまでご理解されているように思えてなりません。情報にあふれている時代の流れとともに最先端の医学を学びながら、身近な人たちとの関わりや生活を



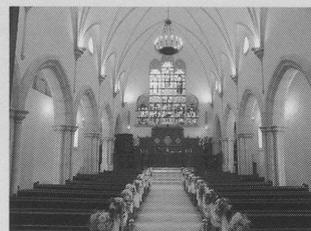
今一度見直し、謙虚さを忘れず、自分の生き方を見つけたいと思います。余談ですが、自分の時間がもっと作れるようになったら、ヨガ教室やテニス教室に通いたいと野望？を抱く今日この頃です。

次は、『山梨赤十字病院の堀内秋子先生』にバトンをお渡しします。

Part 8-2

一宮温泉病院 小俣正留 先生

こんにちは、一宮温泉病院の小俣です。リレーエッセイを頼まれてからは、さて何を書けばよいものなのか悩んでいました……。そんな4月、私には月に2度のご祝儀を支払わなければならない出来事がありました。27歳になる私は友人達の結婚式のラッシュを迎えました。その為、今回は結婚式について触れてみたいと思います。私の地元は田舎のためか出席者は200人程と多く盛大に結婚式を行います。中学、高校の友人達が集まり、お酒を交わし、学生時代の話しながら新郎・新婦を祝う姿はとても感動し楽しいものです。また学生時代の新郎を思い出すと年を重ねてきたということを実感するものでもあります。私も人の結婚式に祝儀を払っているばかりでなく、もらう側にならなければと思う今日この頃です。ちなみに2次会でディズニーペアチケットが当たりましたが、一緒に行く人もいないので行きたい人募集中です。



次回は『甲州リハビリテーション病院の興石哲也先生』です。

編集後記

今回の Supporters No.126 は楽しんでいただけただしょうか。

6月に入り梅雨のジメジメとした天気が続いていますが、皆様どうお過ごしでしょうか。

今回、全国研修会のリーフレットができたことを紹介し、サッカーワールドカップまでとは及ばなくても、山梨から全国へ多くのことを発信できるよう期待しています。

期待といえば、1歳3ヶ月になるうちの娘です。2～3ヶ月前は、ようやく掴まり立ちができる程度でしたが、今はスタスタと部屋中を歩き回っています。子供の成長はとても早いと感じます。それでいて『私はどうであろう』と考えると、とても不安です……。

今後も皆様のご意見・ご感想をいただき、これからも楽しい会報誌を作っていきたいと考えています。皆様のご協力のほどよろしく願いいたします。
(清水真治)



- 発行 ● 山梨県理学療法士会
- 代表 ● 谷村 英四郎
- 企画・校正 ● 清水 文彦 清水 真治 水上 卓 中込 恵美
- 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ
- 会報部 ● 〒406-0023 山梨県笛吹市石和町八田 330-5
石和温泉病院 理学療法室内
Tel 055-263-0111(代) Fax 055-263-0260 E-mail sinji0012312@yahoo.co.jp